

- まちづくり会館をご利用ください (P.1、2)
- 山麓リボンの道を行く (P.3)
- 発信!まちセン研究ネット① (P.4)
- お知らせ (P.4)

こうべまちづくり会館をご利用ください ～3階に多目的室がオープン～

この4月から、当会館3階に多目的室がオープンしました。ぜひご利用ください。

ホール・会議室・ギャラリーは、これまでどおりご利用いただけます。

■多目的室 NEW!

135㎡の展示、会議、研修などに使えるスペースです。

机等の配置を変えればワークショップなどにも最適です。

2階のホールと併せてのイベントにもご活用ください。

※次ページでは、多目的室の詳細や様々な利用方法など紹介しています。

お申込み方法

ホール・会議室・多目的室については、使用日の3月前の月の第1営業日から先着順で申込を受け付けます。まちづくり関係でご利用の場合は事前にご相談ください。電話による予約が可能です(申込書はFAXでお送りください)。

ギャラリーについては、毎月第1営業日の午前10時30分から、翌年当月の利用抽選会を開きます。抽選終了後の空き日については、先着順で随時受付しています。5階事務室にてお申し込みください。

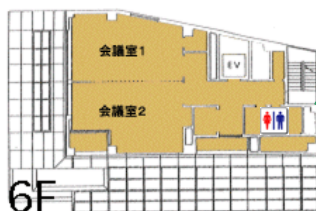
詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/4kuukan/kaikan.htm>

料金表(単位:円)

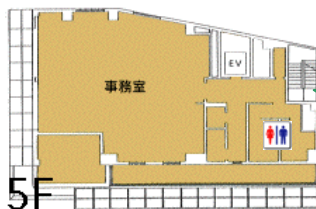
	6階 会議室			3階 多目的室	2階 ホール	地下1階 ギャラリー	
	1・2	1	2				
使用時間帯	10:00-12:00	2,500	1,400	1,200	3,000	3,300	13,300 /日
	13:00-17:00	5,000	2,700	2,300	5,900	6,500	
	17:30-21:00	4,400	2,400	2,000	5,200	5,700	
	10:00-19:00 (6日連続使用が原則)	10:00-17:00	6,800	3,600	3,100	8,000	8,800
		13:00-21:00	8,500	4,600	3,900	10,000	11,000
		10:00-19:00	-	-	-	9,500	-
	10:00-21:00	10,100	5,500	4,700	12,000	13,200	

※営利利用は、上記使用料金の5倍の料金になります



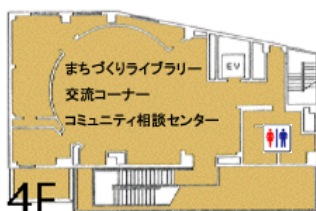
■会議室

会議室1(定員22名)・会議室2(定員18名)があります。パーティションを外せば1室(定員40名)としても利用できます。



■事務室

会館運営のための事務室です。施設利用申込、神戸JIBANKUNデータの閲覧はこちらで。



■まちづくりライブラリー・交流コーナー

まちづくりに関する図書、資料などをそろえており、図書の貸出も行っていきます。また、交流コーナーは、図書の閲覧やまちづくり談義に。



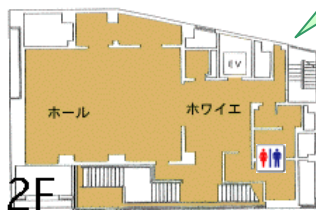
■コミュニティ相談センター

自治会などの地域コミュニティの会報の印刷サービスや、運営・活動などの相談業務を行っています。



■ホール

定員90名。講演会や会議、研修会等にご利用ください。



■オープンギャラリー

模型やパネルなどで市政やまちづくりの情報を紹介しています。

■市政情報紙コーナー

広報紙KOBEをはじめ、市政に関するパンフレットやチラシなどを提供しています。

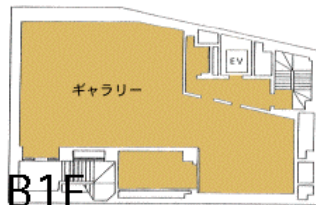
■インフォメーション

会館施設に関する情報や観光パンフレットなども紹介しています。



■ギャラリー

壁面長64メートルの本格的な画廊です。絵画、書、写真、手芸などの作品展示にご利用ください。



3階多目的室のご案内

面積135㎡の多目的スペースです。

机等を自由に配置して、ワークショップなど多彩な催しが可能です。

2階のホールでのシンポジウムと3階多目的室でのパネル展示など、他のフロアと併せたご利用もできます。様々なイベントにご活用ください。

※3階にはトイレがありませんので、他の階をご利用ください。



平面・立体作品の展示に・・・



ビデオプロジェクターを使っでの会議に・・・

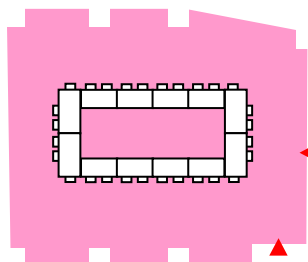


ワークショップなどに・・・

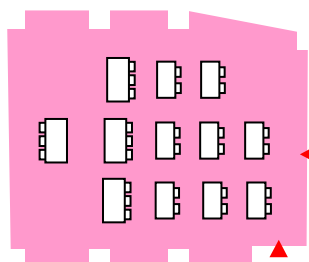


机の配置例

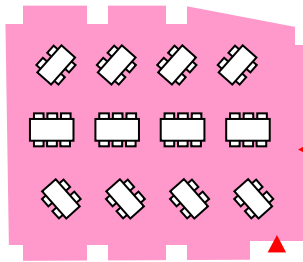
口字型（基本配置） 28席



教室型 28席



島型 56席



肘掛付椅子



展示用パネル



パネル用フック



ポータブルワイヤレスアンプ

机は、6人用4台・4人用8台をご用意。

口字型又は教室型配置時28席分、島型配置時56席分となります。

椅子は、肘掛付44・パイプ椅子42、計86脚。

展示用パネル（幅90cm・高さ180cm）28枚

自立型として両面展示に、繋いで連続した展示面としても利用できます。展示は、フック（30個）又はピン止めで。

ポータブルワイヤレスアンプ（ワイヤレスマイク 1本・カセットデッキ付）、ビデオプロジェクター・スクリーンが無料でご利用いただけます。申込時にお申し付けください。

～実際の利用例から～

08年11月から3月にかけて開催した、開館15周年記念イベントの中では、展示や交流会の会場として、多目的室が活躍しました。中でも、建築関係団体による、地下1階ギャラリーでの展示や2階ホールでの講演会・トークイベントと同時に、多目的室で行われた「建築家の卵による設計展」では、展示された建築系学生の作品を媒介に、現役の建築実務者と学生が世代を超えて交流することができました。



「山麓リボンの道」を行くーその 8:平磯の波面

森崎輝行（いきいき下町推進協議会）

今回は、「滝の茶屋」の少し西、「その5：坂道と海」でご紹介した白滝川をこえ、さらに西へと「山麓リボンの道」は続きます。その「滝の茶屋」駅の眼下30mの海は、かつて「平磯」と呼ばれ、暗礁が多くありました。「『垂水誌』」によれば、文久三年(1863)正月23日、薩摩藩の汽船が霧で進路を誤り、ここの暗礁に乗り上げて沈没したので、その後、灯台を建設し目印としましたが、しばしば風波のため壊れ、明治26年11月にコンクリート製にした」とあります。この灯台は、サマセット・モームが塩屋ペンクラブの関係者からこの辺りの潮流の激しさを聞き、著した小説『ア・フレンド・イン・ニード（困った時の友）』の舞台としても知られています。

現在、この平磯は、垂水下水処理場が建設され、その上部は、1ヘクタールの広大で見晴らしのよい緑豊かな芝生広場となりました。広場には、噴水などが点在し、市民の憩いの場として親しまれています。また、平成6年11月には、垂水にゆかりの万葉の歌6首を刻んだ歌碑もこの平磯緑地に建立されています。

山麓リボンの道は、城が山公園を右折少し進みさらに左折し西に進んで行きます。「城が山」というと、「城跡」のようなニュアンスに聞こえますが、新神戸の町名（神戸史学会編）で落合重信氏は、「城や城砦の存在というのは考えにくく、別の地図では庵の後と書いてあり、アン・ノ・ウシロ→アンノウ・シロ（城）との変化が考えられることから、背後の山を指すか、「代（墾地）」かであり、『名谷誌』によれば、ジェームス山一帯には昭和まで五つの峰があり、尾根が蓮華の華状に四方へのびており、その主峰が百二メートルの「城が山」であった」と述べています。

東垂水展望公園まで西へ約500m進みます。

この公園から少し北にはずれたところに、高低差17m・延長58m、各段が不揃いで、這い上がらなければ登れないような急勾配の階段があり、かつては「這上階段」と呼ばれていました。この階段は、近年、階段の上下双方の地域の人々が集まって、「安全な階段」についてワークショップを行い、改修され生まれ変わりました。階段の名称も公募によって「山手ふれあい階段」と名付けられ、交流のなかった二つのコミュニティの架け橋にもなっています。

台座の岩が残っているだけの耕地整理の記念碑を道標にさらに西への下り坂を進みます。



「山手ふれあい階段」

下りきったところで福田川に当たります。西垂水散策マップ（垂水区役所発行）には、この「福田川」は、源平合戦の野戦のあったところで、その際、戈（ほこ）を田の中で交えたということから、戈田川とっていたのが、変化して現在の名になったという記載があります。

福田川沿いに国道2号を渡りさらに南下すると、「恋人岬」にでます（山麓リボンのルートは国道の福田橋を西に渡ります）。前述の垂水下水処理場の南西角にあり、明石海峡大橋が一望できる展望スポットになっています。瀬戸内海の落日と大橋のシルエットを眺めながらの語らいは正にその名通りでしょう。付近には、ビオトープがあり、池には昔懐かしい生き物が棲んでいます。

再び、山麓リボンのコースに戻ると、垂水漁港に出ます。ここは、船曳網・小型船底曳網漁を主体とする漁船漁業や、のり養殖業が盛んに行われている市の漁業の拠点です。また、活魚を市場へ搬出する中継基地としても大きな役割を果たしています。垂水漁港のイカナゴ漁は、春を告げる地域の一大イベントでもあり、「残したい日本の音風景100選」にも選ばれています。今年、イカナゴが不漁で、一時、なんと1kg当り3,000円もしました。

すぐ西隣りに、海神社大鳥居が現れてきます。「大きな朱塗りの鳥居」は、垂水の名物の一つに数えられています。

海神社は、927年の「延喜式」にも名前が出てくる垂水を代表する神社です。祭神は、そこつわたつみのかみ底津綿津見神、なかつわたつみのかみ中津綿津見神、うわつわたつみのかみ上津綿津見神の男神三神です。この神様は、それぞれ「海底」「海中」「海上」の神様です。

今から千数百年前、神功皇后の軍船が嵐に遭い、ここで三神に祈ったところ風波が収まったという伝説があります。この神々は、対馬を本拠にしていた海人族が信仰をしていました。毎月10月12日の祭礼には海上渡御がおこなわれています。

いつのまにか「山麓」から「海」に入ってしまった今回。それだけ、この地区は、海と山がせまっていたのですね。

(建築家)



恋人岬



ビオトープ

発信！！まちセン研究ネット ①

こうべまちづくりセンターでは、まちづくり会館の調査・研究機能を高めるため、市民、学識経験者、専門家、市職員などで組織される自主的な「まちづくり研究グループ」と連携し、「こうべまちづくりセンター・研究ネットワーク（まちセン研究ネット）」として、各研究活動の支援、共同発信などを行っています。

平成15年に発足し、現在は、12グループがまちづくり会館等を拠点に、独自の活動を行っており、これまでも、シンポジウム・交流会の開催、書籍の出版などの取り組みを行ってきました。

次号からは、各研究グループそれぞれの活動を紹介していきます。

研究ネットワーク参加グループ

- ・水谷ゼミナール
- ・神戸防災技術者の会(K-TEC)
- ・いきいき下町推進協議会
- ・プランナーズネットワーク神戸
- ・阪神白地まちづくり支援ネットワーク
- ・こうべまちづくりワークショップ研究会
- ・西神ニュータウン研究会
- ・空間像研究会
- ・こうべまちづくりアーカイブプロジェクト
- ・NPO法人都市災害に備える技術者の会
- ・技術者のための国際関係研究塾
- ・東アジアまちづくり研究会



まちづくり会館 展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

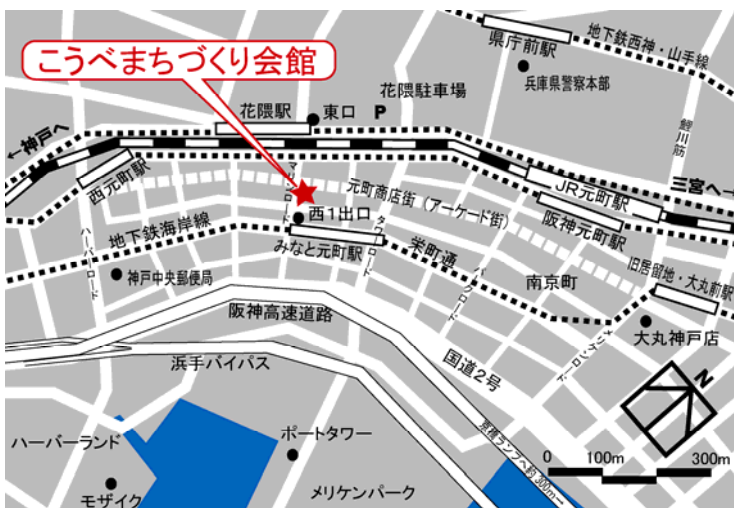
期間	テーマ・内容	主催者
5月	日本で最も安全なすまいのまち“神戸”をめざして 塩屋百年百景プレ展覧会	神戸市都市計画総局
6月	土砂災害防止月間パネル展	国土交通省六甲砂防事務所
7月	神戸景観・ポイント賞 都市計画総局景観室	神戸市都市計画総局

※展示期間が変更になる場合があります。

地階ギャラリーの予定

期間	テーマ・内容	主催者
5月1日(金) ~ 5月3日(日)	神戸群玉書道会展	神戸群玉書道会
5月7日(木) ~ 5月12日(火)	第16回 丹水会展<水彩>	丹水会
5月14日(木) ~ 5月19日(火)	新樹会 水彩画展	新樹会
5月21日(木) ~ 5月26日(火)	元町の芸術家たち展<油彩等>	神戸元町商店街連合会
5月28日(木) ~ 6月2日(火)	第20回 KP展<パステル>	神戸パステル画会
6月4日(木) ~ 6月9日(火)	第21回 遥洋会展 油絵展	遥洋会
6月11日(木) ~ 6月16日(火)	そらいろの会展<油彩・水彩等>	そらいろの会
6月18日(木) ~ 6月23日(火)	神戸高校2回生作品展<油彩・水彩等>	神戸高校2回生
6月26日(金) ~ 6月30日(火)	風の会 作品展<水彩>	風の会

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。



こうべまちづくり会館

開館時間：午前10時～午後6時（水曜日休館）

場所：元町商店街4丁目西端の南側角

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分

「西元町」東口から東へ5分

JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター（まちづくり会館4F）

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

受付：午前10時～午後6時（水曜日休館）

ただし、印刷は5時まで

電話・FAX：078-361-4565